

## トヨタによる支援事例（サンライズ工業<部工会>）



活動期間：20年10月～21年3月（6か月間）

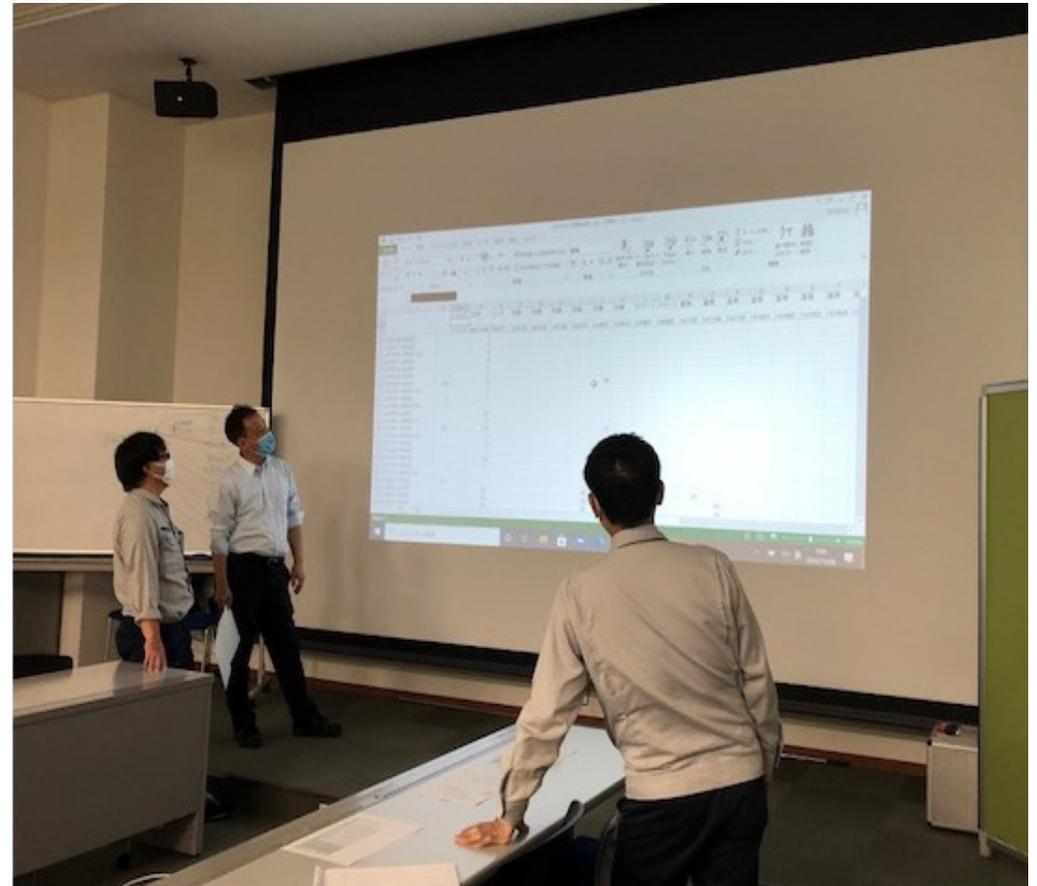
## トヨタによる支援事例（サンライズ工業<部工会>）

売上減でも、目標営業利益率を達成できる**体質改善**を目指し活動

項目	課題	結果
ジャストインタイム	<ul style="list-style-type: none"><li>• しくみの問題により<b>仕掛品在庫多</b> 正常・異常が分からない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 主要部品対象に売れた物を売れた分だけ作るしくみ導入。<b>LT短縮</b>により、<b>異常の顕在化</b>（棚卸回転日数6→3日）</li></ul>
自動化	<ul style="list-style-type: none"><li>• 生産システムで日々の進捗管理のみ</li><li>• アンドン無（設備の番人）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• モデル工程で生産管理板、異常見える化定着（他工程へ横展実施中）</li></ul>
生産性	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>作業の原単位（基準）</b>存在せず</li><li>• 正常・異常分からず改善に繋がらない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>原単位</b>を決め、<b>負荷の山積み</b>を改善の切り口にする手法全課長習得</li><li>• <b>労務費低減</b> 今年度 13名(6%)見込</li></ul>

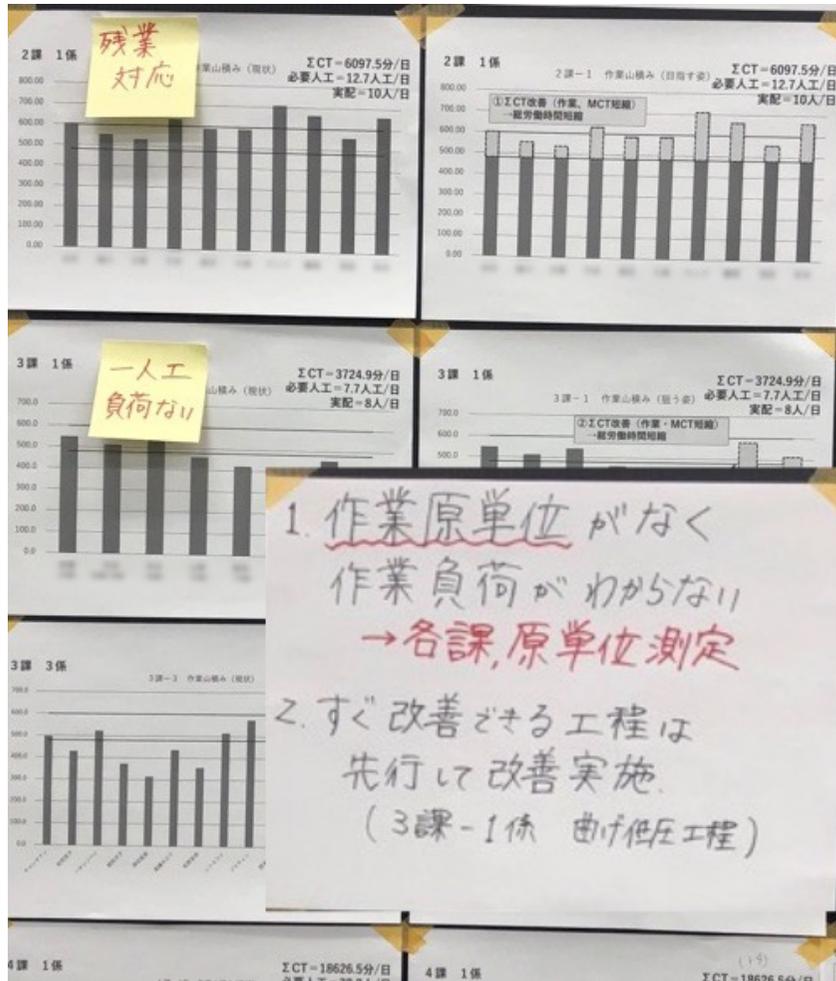
## トヨタによる支援事例（サンライズ工業<部工会>）

【初回訪問時の改善を目指す工程の確認・診断、目標議論】



# トヨタによる支援事例（サンライズ工業<部工会>）

【改善に必要な「モノと情報」の流れの整理、作業の原単位の見える化】



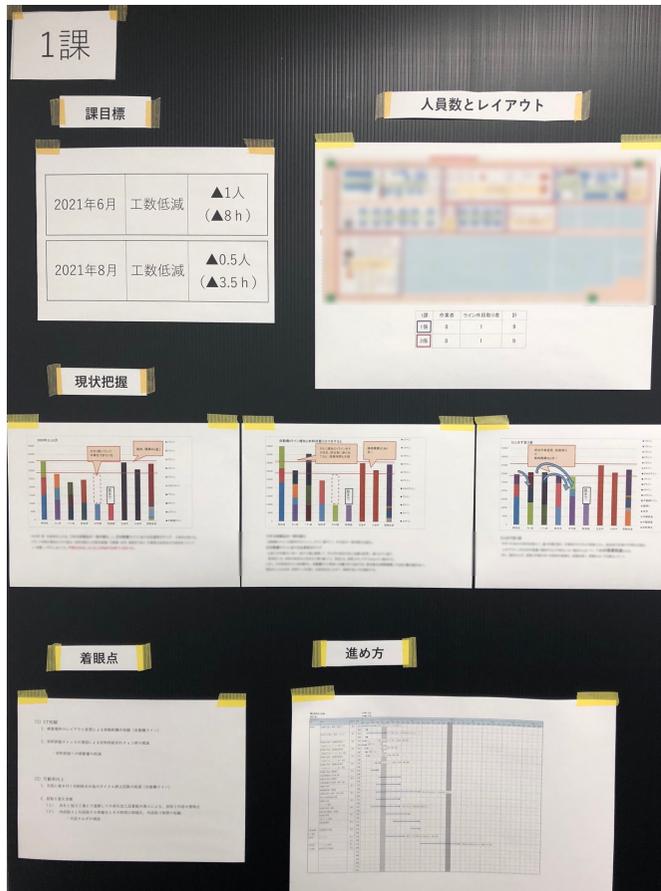
## トヨタによる支援事例（サンライズ工業<部工会>）

【実際の改善内容・効果・新たな課題等を作業者と確認】



# トヨタによる支援事例（サンライズ工業<部工会>）

【各課の改善状況の見える化（モデルラインの改善事例を各課に展開）】



# トヨタによる支援事例（サンライズ工業<部工会>）

## 【仕掛品滞留低減活動】



【2020年11月】



【2020年12月】



【2021年3月】

### 支援先の声

- 独自に設備の加工短縮を中心に改善してきたが、新たに**作業の原単位**を切り口にする改善手法を学び、改善活動の進め方のコツがわかった
- 一方的な指導ではなく、指導チームと一緒に汗をかいて改善を進める姿を見て、**会社全体の改善マインドが大きく向上**
- 今回の支援で学んだことは、**会社にとって貴重な財産**。  
**他工程や他工場への横展開**を図り、自立的に活動を継続していく